



草の根

第42回

No. 18

新日本婦人の会 浜松支部
〒430-0907
浜松市中区上島3-33-6
TEL&fax 464-9881

**女性の願いで行動、来年創立60年を迎える国連NGOです
あなたも新婦人に**

11・19はビッグデー!

11・19~25は仲間づくり連帯機関

浜松支部は各班会員1人としんぶん2部を目標に班から行動しよう
と決めました。

元会員、元読者、友人、カフェでつながった人など20号のしんぶん
を使って総当たりしましょう。班から行動をつくりだしましょう。



11月20号の
宣伝紙を班に届
けたよ。行動に
使ってね。



仲間作りにダッシュ!!



9月11日付け4面掲載の
「気軽に野の花アレンジメント」
へ全国からの反響が寄せら
れました。



「草の根」のしまの花便りでおなじみの、すみれ班の近藤しまさんの
秋の花を使った「野の花アレンジメント」が紹介されました。近藤さ
んのお庭は四季を彩る植物や野の花でいっぱい。神無月班の絵手紙小
組は毎月そのお庭に咲いている花を絵手紙に書いています。すてきな
紙面に支部の皆さんだけではなく全国からの感想が届きました。

- ・野の花アレンジメントの記事を見て、
やっぱり自然は大切だなと感じました。
とても必要なものですね。
(鳥取・50歳)
- ・近藤しまさんのアレンジメントにすこ
く癒やされました。ちょっとオーバ
ークが続いて、心身ともに疲れていたの
で優しい野の花に魅かれ、何回も見返
しました。タマシダレとアカシソ、ヒルザ
キツキミソウとヤブミヨウガの葉なんて
すてきな色彩。また時々載せてほしい
です。
(長野・61歳)
- ・花の写真を見てホッとしました。自
転車でしんぶん配達や産直を配っている
とき、草花を目にして、小さかったとき
花の上でねっころがったり知らない花の
名前を調べたりしたときのことか思い
出されます。
(大阪・64歳)
- ・4面、野の花アレンジメント本
当に生け花とは無縁だったし、お花を買
ってまでやりたいとは思っていません
でした。でも、こんなふうに庭の花を
いけてもええんやなあと思いました。た
だ、やっぱり、野の花は庭で自然に
咲いているのがええような気がします。
ただ、そんなことを言っても新婦人好
きたった母のお仏壇には庭の花もよく
お供えしますが、けど目を楽しませて
もらいました。
(大阪・70歳)
- ・野の花は今の時期に必要なこと。
私も散歩の途中に野の花を摘んで
きます。
(大阪・71歳)
- ・自粛疲れの昨今になんという爽やか
さがウオーキングをする遊歩道にど
れもさりげなく咲いています。私も、鉢
も

- 小さいのがたくさんありますので、や
つきた秋を多めに楽しみたいです。
(東京・78歳)
- ・静岡の近藤さん私も子どもの時から
大好きです。今も狭庭に花がいっぱい
。今夏は月下美人の花を香りとともに
楽しみました。亡き夫の仏前には庭のシ
ユウカイドウ、ミズヒキ、四季咲き小菊、
ホトトギスほか、菊もそのうち咲く
でしょう。私もコップやグラスに庭の
野の花をつんでいけています。今年
はアジサイ(五種)が見事に開花し、
道行く人、知人に誉められてうれ
しかったです。アジサイは花後の剪
定期が適切でないと次年の開花に
ムラがでます。
(群馬81歳)
- ・やさしい野の花々に心が慰められ
ました。
(東京・87歳)
- ・お邪魔したことのある近藤さんの
庭が紙面で紹介された。嬉しい!
しまさんの草花への愛情が伝わって
きた。恥ずかしながら私はサルスベ
リの木をしっかりと認識していな
かった。今回あることからサルスベ
リの花を知って、夏の間、町中
にいかにかあちこちのお宅で
咲いていたか、街路樹にもな
って驚きだった。そのサルスベ
リの木に寄り添ってたたずむ
近藤さんが庭に溶け込んで
いた。
(浜松 70歳)



(浜松 70歳)



〈訂正とお詫び〉

草の根17号で第30回全国大会の日程の年を間違えていましたので訂正お詫び
します。2022年1月23日(日)が正しいです。よろしく願います。

親子でリズム遊びを楽しめる様に、月3回の例会を準備し子育て中のお母さんの力になっている「リズム部」を紹介します。

このコロナ禍の中、リズム部の活動もかなり制限を受けました。例年行われていた合同リズムやみかん狩りといったイベントは全て中止。例会もしばらく休会となることもありました。会員の募集もできず、なんとか支部や県、中央の支えにより活動を続けてきました。リズムを楽しみに来てくれる子ども達やお母さん達のためにも楽しい例会を続けていきたいと思えます。普通の生活に戻れる兆しが見えてきた今、もう一踏ん張り頑張ります。

●伊藤真弓●

湖西市で活動しているぶちとまと班の親子リズムを担当しています。私は、娘が一歳の時に親子リズムに入会し、新婦人の会員となりました。それから約22年。今は、浜松支部の常任委員、リズム部の部長、静岡県泉本部委員をさせていただいています。班はあざれあ班。入野、佐鳴台辺りの班です。今、家庭の事情などで新婦人の活動に参加できないことが多いですが、今はできる範囲で頑張ろうと思っています。よろしくお願いします。

部員の紹介

●野口婦久子●

すくすく班の会員です。今は可美班の講師をしています。私が初めてリズムと出会ったのは長女が1歳3ヶ月の時でした。それが私の新婦人との出会いでも有ります。3人の子どもをリズムで育て、未っ子が幼稚園に入園してからは、講師の立場でリズムを楽しんでいます。リズムでたくさんの出会いや経験を頂き有り難く思っています。



●山下祐子●

可美班の親子リズムを担当しております。28年程前に、当時2歳だった娘を連れて親子リズムに参加したのが入会のきっかけでした。入会して間もなく、講師の方が辞められ、後を引き継ぐことに。娘連れでしたので、大変でしたがリズムの雰囲気大好きで今に至っています。親子リズムの場は、お母さん達にとっても、私自身にとっても心の拠り所です。こんな世の中だからこそ、これからも大切にしていけたらと思っています。



戦争のない平和な未来のために

神無月班 中谷則子（略称＝平和な浜松をつくる会事務）
新婦人浜松支部、西部地区労連、浜松市平和委員会の3団体で9月に「戦争をなくし平和な浜松をつくる会」を創りました。目標は①戦争をなくし、戦争体制に反対する②日米安保を破棄する③浜松基地と自衛隊強化に反対するの3項目です。

会のはじめての行動として10月19日に浜松市に申し入れと懇談を行いました。浜松基地の騒音、T-400の移駐、自衛隊員募集問題など話し合いました。浜松市の主張の現状と、市民から見たその問題点が明らかになったと思います。文章化した浜松市の口頭回答をぜひ読んでください。浜松市が戦争に協力する自治体であってはなりません。

気付いたときには遅かったという事にならないように、アンテナを高くして戦争につながる事には敏感に対応していきましょう。加盟団体も助けながら、騒音などの環境解決に向けた具体的な行動もみんなで考えていきたいです。

家庭ごみ有料化の現状と今後の取り組み等について

くらし部長 寺澤和代

考える会では皆さんの頑張りで集められた署名4,550筆を第一次分として市に提出し有料化反対の声を届けてきました。

しかし、10月12日に環境審議会は「ごみ減量の推進に家庭ごみ有料化は有効な施策の一つである」との答申書を市長に提出しました。市は答申を受け有料化の判断をしたのち議会上程していくことになると考えられます。

ただ、答申には「有料化は市民の日常生活に大きな影響を与える」として実施する際には市民に十分な説明をし混乱を招かないようにすることなど6項目の配慮事項が付され当局も簡単には進めないようです。これは私たちの運動の力が反映したと言えるのではないのでしょうか。

同様に有料化が検討されていた袋井市も市民の運動で市が見送りを決定しました。

浜松市でも議会上程をさせないため、ごみ減量の具体的な提案をしながら有料化反対を訴えていきます。署名は引き続き11月末まで集約し12月に第2次分として提出しますのでもう一回り広げてください。

また、1月にはごみ減量や環境問題の講演会を開催しますので一緒に学習していきましょう。

しまの花だより

すみれ班 近藤しま

ここしばらく、あわただしく日々を過ごし庭の手入れができなかったが、野菊たちは美しく咲いてくれてうれしい。フジバカマやヒヨドリソウも植えてあるので、期待をしていた念願の「アサギマダラ」が初飛来です。当、積志地区ではあちらこちらで目撃情報があり、私も飛来を見つけることに心がけていたので、嬉しかったですねただ似ているが赤い斑点のある「アカボシゴマダラ」という特定外来種も飛来していました。同じ食草なので要注意だそうです。

施設見学に行っただよ!



